

## バッチフラワーレメディ（6）

バッチフラワーレメディを皮膚の特定の場所に使用することによって、その場所に特定な心の問題が、内服するよりも早く、効果を現わすことに大変驚かされている毎日です。もちろんその場所に現れている症状が消えていくのです。症状がたちどころに消えた方は、そのレメディの意味する心の問題を真正面から認めざるを得ません。皮膚には38種類の心の働きを司る特定の場所があることを突き止めたのが、ドイツの自然療法士であり、ヒーラーであるディートマー・クレーマー氏と共同研究者のヘルムート・ヴィルト氏です。彼らの素晴らしい発見とバッチ博士のレメディに私たちはどれほど助けられるでしょうか。

10年以上前の脳梗塞の後遺症で左側の麻痺と拘縮があり腕が上がらず、痛みがある方、周囲の理解が得られにくく、多くのつらさを抱えていたのですが、ウイロウ（被害者意識）の場所であった為、その場でウイロウを1滴取って塗布しました。2~3分後には、すっと腕が上に伸びて、痛くもないし、と本人が驚いていました。そのレメディの意味も理解していただき、服用も外用も続けてみると言ってくれました。

いろんな治療に抵抗する副鼻腔炎を持っている方は、右側の副鼻腔のみ病的であった為右の頬にクレマチス（空想的）を塗布しました。すぐに副鼻腔からごくごく喉に鼻汁が降りてきました。これで治る、と確信できたと喜んでおられました。

鼻炎が治りにくく夜もぐずぐずと眠りにくそうな小学生ですが、アレルゲン対策を行い抗アレルギー剤や漢方薬などの内服も続けているのです。それでもなお症状が残っていました。ORTでは副鼻腔炎はなく鼻炎のみでしたので右鼻の皮膚にアスペン（何かわからない不安）、左鼻の皮膚にアグリモニー（苦悩を隠して快活に）を塗布したところ、直後に鼻がスースーする、と言ってくれました。

仕事上の不安と緊張を抱えていた方は、ミムラス（原因が明確な不安）が必要で、その場所に湿疹が出現していたのです。早速塗布してもらい、痒みが軽減しました。

足の爪のけがが治りにくく黒っぽく変色していたのですが、ホリー（怒り）の場所なので、塗布すると、健康な肌の色に変化してきました。日焼けでシミがくっきり出てきたので、その場所のフラワーレメディ、ワイルドローズ（あきらめ）を塗布したところすぐに薄くなりはじめ、2日で消えてしまいました。左上腕の痛みがでてきて、またマッサージ、ストレッチを始めなければ、と思っていたのですが、もしかしてと思いウイロウを塗布しましたところ、すぐに痛みが無くなって今も再発していないのです。最後の3例は私自身なのです。必要であったレメディの心の問題を、考えざるをえませんでした。

心の思いがこれほど体を傷つけるのです。体の症状は、心の問題を警告し続けているのですね。基本はセルフケアなのですが、解りにくいときはご相談ください。